

乳幼児期の子育て支援のための心理学的研究

こども学科 小林 佐知子
こばやし さちこ

●連絡先 TEL: 054-202-2690 FAX: 054-202-2690

キーワード

動機づけ、父親、職場復帰、メンタルヘルス、
ソーシャル・サポート、描画発達



現代の育児はストレスや不安を抱えやすく、虐待をはじめ不適切な養育を巡る問題や、父親の育児参加など社会的な課題が少なくありません。こうした諸問題をどうしたら解決できるのか、①親の心を深く理解する（心理メカニズムを解明する）、②効果的な支援方法を探る（子育て支援に役立つ）という2方向からアプローチしています。他方、保育の場で子どもの発達を捉えるための描画の可能性に着目し、描画発達の研究も行っています。

1) 育児の動機づけ

人はなぜ育児をするのか（しないのか）。育児に心が向かわない親たちの心を深く理解するために、“動機づけ（motivation）”の視点から育児場面における父親・母親の心理プロセスを解明しています。

2) 父親の育児

乳児をもつ父親の育児参加と発達プロセスに関する研究をしています。乳児が泣く場面での父親と母親の認知や解釈の違い、父親の育児行動の特徴を検討しながら、適切な父親の育児のあり方について考えています。

3) 仕事と家事の両立

働く母親が増加する一方で、育児休暇取得後の職場適応や、仕事と家庭の両立に悩む母親が増えています。これまであまり着目されなかった職場復帰前後における母親の心理と支援について研究しました。

4) 父親・母親のメンタルヘルスとソーシャル・サポート

抑うつ傾向を中心に、父親、母親のメンタルヘルスとその関連要因を研究してきました。環境要因（ソーシャル・サポート）と内的要因（親自身のパーソナリティなど）との相互作用モデルを構築しました。



アピールポイント

親や保育者、保健師などを対象に、育児に関するセミナーや研修会（子どもの心を育むための大人の関わり方、子どもの障害、職場復帰支援、メンタルケアなど）の講師を担当してきました。